



Sitecore CMS 7.2

ブラウザ設定リファレンス

Sitecore を使用するためのブラウザの最適化

目次

Chapter 1	イントロダクション	4
1.1	サポートされる Web ブラウザー	5
Chapter 2	Microsoft Internet Explorer の設定	6
2.1	Internet Explorer のバージョンを確認する手順	7
2.2	Internet Explorer 設定の概要	8
2.3	必須の設定	10
2.3.1	信頼済みサイト ゾーン	10
2.3.2	ポップアップ ブロック	11
2.3.3	Word Document フィールド タイプの設定	12
2.3.4	WebDAV 設定	13
	Windows Web フォルダ クライアントまたは Windows デスクトップ エクスペリエンス	14
	WebClient Windows サービス	14
2.4	推奨される設定	15
2.4.1	SmartScreen または フィッシング詐欺検出機能 の無効化	15
2.4.2	Adobe Flash のインストール	15
2.4.3	マイナーな問題	16
2.4.4	インターネット一時ファイルの管理の設定	16
2.5	オプションの設定	19
2.5.1	新しいウィンドウまたは新しいタブ	19
2.5.2	Internet Explorer 9、10、11 のセッション マージ	20
	[新規セッション] コマンド	20
	-NoSessionMerging コマンド ライン パラメーター	20
	SessionMerging レジストリ設定	20
2.5.3	同時 HTTP 要求制限	22
2.5.4	その他の設定	23
Chapter 3	Microsoft Internet Explorer のトラブルシューティング	24
3.1	トラブルシューティング プロセス	25
3.1.1	Sitecore クライアントの要件を確認する	25
3.1.2	ブラウザー設定を確認する	25
3.1.3	ブラウザー プラグインを無効にする	25
3.1.4	ブラウザーの一時ファイルをクリアする	25
3.1.5	Windows およびコンポーネントにパッチを適用する	26
3.1.6	インターネット セキュリティ ソフトウェアを確認する	27
3.1.7	Internet Explorer の設定をリセットする	27
3.1.8	別のブラウザーを使用して問題を再現する	28

3.1.9	別のユーザーとして問題を再現する	28
3.1.10	別のコンピューターから問題を再現する	28
3.2	その他のトラブルシューティング リソース	29
Chapter 4	他のブラウザの設定	30
4.1	ポップアップ ウィンドウを Google Chrome で有効にする	31
4.2	他のブラウザでポップアップ ウィンドウを有効にする	33
4.3	Mozilla Firefox によるページ エディターでの確認ダイアログ ボックスの表示の防止	34

Chapter 1

イントロダクション

この文書では、Microsoft Internet Explorer および 他の Web ブラウザーを Sitecore で使用するための設定を説明します。また、ブラウザー使用時の問題をトラブルシューティングする手順についても説明します。

この文書には次の章があります。

- **Chapter 1 — イントロダクション**
- **Chapter 2 — Microsoft Internet Explorer の設定**
- **Chapter 3 — Microsoft Internet Explorer のトラブルシューティング**
- **Chapter 4 — 他のブラウザーの設定**

1.1 サポートされる Web ブラウザー

現在サポートされている Web ブラウザー:

- Microsoft Internet Explorer 9、10、11
- Mozilla Firefox 17 以降
- Google Chrome 25 以降
- Mac OS の Apple Safari 6 — Apple は Windows をサポートしていない

メモ

特に注記されていない場合、Sitecore CMS 7.2 は、これらのブラウザの現在の安定バージョンのすべてをサポートします。

メモ

Sitecore CMS 7.2 は、IE 9、IE 10、IE 11 において互換表示モードをサポートしません。

メモ

Sitecore は、Internet Explorer を介しての Word および WebDAV のみを、この文書の説明に従って設定した場合にのみ、サポートします。

Chapter 2

Microsoft Internet Explorer の設定

この章では、Sitecore で使用するために Microsoft Internet Explorer を設定する手順を説明します。これらの手順には他のブラウザと共通するものがありますが、UI に関してはブラウザごとに異なる可能性があります。

この章には次のセクションがあります。

- Internet Explorer のバージョンを確認する手順
- Internet Explorer 設定の概要
- 必須の設定
- 推奨される設定
- オプションの設定

2.1 Internet Explorer のバージョンを確認する手順

コンピューターにインストールされている Internet Explorer のバージョンを確認する手順:

Internet Explorer で、[ヘルプ] メニューをクリックするか、ALT-H を押し、[バージョン情報] をクリックします。[バージョン情報] ダイアログ ボックスが表示され、使用中の Internet Explorer のバージョンが示されます。



重要

この文書で説明される手順には、Windows の管理者権限が必要な場合があります。

2.2 Internet Explorer 設定の概要

設定プロセスを理解している場合は、この概要を設定チェックリストとして使用できます。

- Adobe Flash をインストールする — 推奨
「Adobe Flash のインストール」のセクションを参照してください。
- Windows Web フォルダまたは Windows デスクトップ エクスペリエンス — WebDAV 用に必須
「Windows Web フォルダ クライアントまたは Windows デスクトップ エクスペリエンス」を参照してください。
- **[インターネット オプション]** の **[セキュリティ]** タブで、**信頼済みサイト** ゾーンを設定する手順:
 - CMS を Internet Explorer の「信頼済みサイト」ゾーンに追加する — 必須
「信頼済みサイト ゾーン」のセクションを参照してください。
 - ActiveX コントロールに対する自動的なダイアログ表示を有効にする — Word Document フィールドタイプ用に必須
「Word Document フィールド タイプの設定」を参照してください。
 - IFRAME のプログラムとファイルの起動を有効にする — WebDAV 用に推奨
「WebDAV 設定」のセクションを参照してください。
 - ポップアップ ブロックの使用を無効にする — 必須
「ポップアップ ブロック」のセクションを参照してください。
 - SmartScreen フィルター機能およびフィッシング詐欺検出機能を無効にする — 推奨
SmartScreen または フィッシング詐欺検出機能 の無効化 を参照してください。
 - サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する — オプション
マイナーな問題を参照してください。
 - Web サイトがアドレス バーやステータス バーのないウィンドウを開くのを許可する — オプション
マイナーな問題を参照してください。
 - スクリプトによる貼り付け処理を許可する — オプション
マイナーな問題を参照してください。
 - 混在したコンテンツの表示を有効にする — オプション
マイナーな問題を参照してください
- WebClient Windows サービスがアクティブであることを確認する (WebDAV 用に必須)

- [インターネット オプション] の [全般] タブを使用する手順:
 - 使用するタブ設定を選択する (オプション) — 「新しいウィンドウまたは新しいタブ」のセクションを参照してください。
 - ブラウザー キャッシュを設定する (オプション) — 「インターネット一時ファイルの管理の設定」のセクションを参照してください。
- [インターネット オプション] の [詳細設定] タブを使用する手順:
 - **[終了時に閲覧の履歴を削除する]**を選択する— オプション
「インターネット一時ファイルの管理の設定」のセクションを参照してください。
 - **[スクリプトのデバッグを使用しない (その他)]** のチェックボックスをオフにする — オプション
その他の設定 のセクションを参照してください。
 - スクリプト エラーごとに通知を表示する — オプション
その他の設定 のセクションを参照してください。
 - ショートカットの起動時にウィンドウを再使用しない — オプション
その他の設定 のセクションを参照してください。
 - HTTP エラー メッセージの簡易表示を無効にする — オプション
その他の設定 のセクションを参照してください。
- セッション マージを無効にする — オプション
Internet Explorer 9、10、11 のセッション マージ のセクションを参照してください。
- 同時 HTTP 要求制限を設定する(オプション) — 同時 *HTTP 要求制限* のセクションを参照してください。

2.3 必須の設定

このセクションでは、Sitecore にアクセスするために使用する Internet Explorer のすべてのインストール環境に適用する必要がある設定について説明します。

重要

変更を加える前にシステムをバックアップしてください。

重要

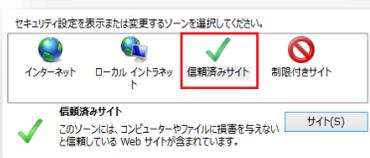
Internet Explorer の設定作業を行う前に、Internet Explorer のすべてのウィンドウを閉じ、必要な場合のみ、Internet Explorer を開きます。設定作業が完了したら、Internet Explorer のすべてのウィンドウを閉じます。レジストリを変更したら、コンピューターを再起動します。

2.3.1 信頼済みサイト ゾーン

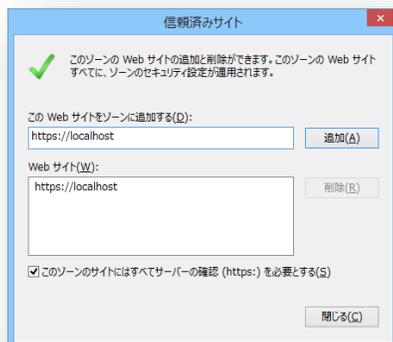
すべての Sitecore インスタンスを Internet Explorer の信頼済みサイト ゾーンに追加します。

Sitecore インスタンスを Internet Explorer 9、10 そして 11 の信頼済みサイト ゾーンに追加する手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、[ツール] メニューをクリックするか、ALT-T を押し、[インターネット オプション] をクリックすると、[インターネット オプション] ダイアログが表示されます。
3. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスで、[セキュリティ] タブをクリックします。
4. [セキュリティ] タブで、[信頼済みサイト] ゾーンをクリックし、[サイト] をクリックします。[信頼済みサイト] ダイアログボックスが表示されます。



5. **[信頼済みサイト]** ダイアログの **[この Web サイトをゾーンに追加する]** に、`http://localhost` などの Sitecore インスタンスの URL を入力します。



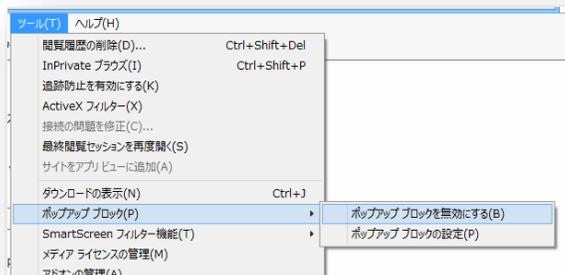
6. Sitecore インスタンスで HTTPS プロトコルが使用されない場合は、**[信頼済みサイト]** ダイアログ ボックスで、**[このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする]** チェック ボックスをオフにします。
7. **[信頼済みサイト]** ダイアログ ボックスで、**[追加]** をクリックし、**[閉じる]** をクリックします。

2.3.2 ポップアップ ブロック

Internet Explorer の信頼済みサイト ゾーンに設定されているサイトまたは個々の Sitecore インスタンスに対してポップアップを有効にすることができます。

Internet Explorer 9、10 そして 11 で、Internet Explorer の信頼済みサイト ゾーンに設定されているすべてのサイトに対してポップアップを有効にする手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、**[ツール]** メニューをクリックするか、ALT-T を押し、**[ポップアップ ブロック]**、**[ポップアップ ブロックを無効にする]** をクリックします。



別の手順として、個別の Sitecore インスタンスに対してポップアップを有効にするには、その Sitecore インスタンスにアクセスします。Internet Explorer の情報バーがブラウザー ウィンドウの上部または下部に表示され (ブラウザーのバージョンによります)、Internet Explorer によってポップアップがブロックされたことが通知された場合の対処手順:

1. **情報バー**に警告メッセージが表示されたら、**[閉じる]** ボタンをクリックします。
2. **Internet Explorer** の**情報バー**を右クリックし、**[このサイトのポップアップを常に許可]** をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックします。

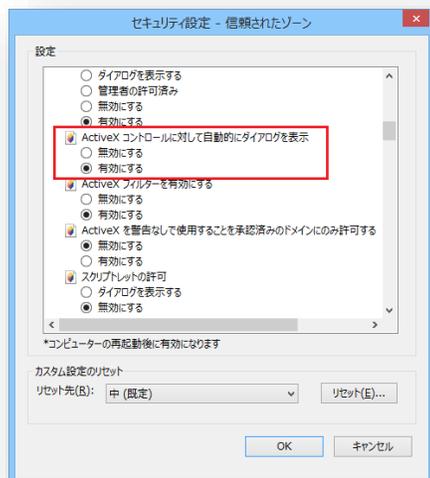
重要

他のすべてのポップアップ ブロックを無効にするか、Sitecore に関してポップアップを許可するように設定します。

2.3.3 Word Document フィールド タイプの設定

Word Document フィールド タイプをサポートするように Internet Explorer を設定する手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、**[ツール]** メニューをクリックするか、ALT-T を押し、**[インターネット オプション]** をクリックします。**[インターネット オプション]** ダイアログが表示されます。
3. **[インターネット オプション]** ダイアログで **[セキュリティ]** タブをクリックします。
4. ダイアログの **[セキュリティ]** タブで、**[信頼済みサイト]** ゾーンをクリックし、**[レベルのカスタマイズ]** をクリックします。**[セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン]** ダイアログ ボックスが表示されます。
5. **[セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン]** ダイアログ ボックスの **[ActiveX コントロールとプラグイン]** セクションで、**[ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示]** の下の **[有効にする]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。



6. 確認のメッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックします。

自動的なダイアログの表示を有効にたくない場合は、以下の手順を使用して Word OCX コントロールをインストールします。

1. ファイル /sitecore/shell/Applications/Content Manager/officeviewer.cab の内容を一時ディレクトリに抽出します。
2. ローカル管理者として Windows のコマンド プロンプトを開きます。
3. Windows のコマンド プロンプトで、先ほど作成したファイルを含むディレクトリに移動します。
4. Windows のコマンド プロンプトで、次のコマンドを実行します。

```
regsvr32 officeviewer.ocx
```

メモ

次のコマンドを使用して Word OCX コントロールをアンインストールできます。

```
regsvr32 /u officeviewer.ocx
```

メモ

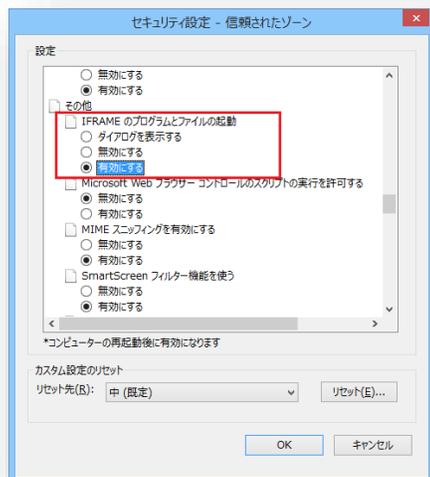
Word OCX コントロールのインストール後またはアンインストール後に、先ほど抽出したファイルを削除できます。

2.3.4 WebDAV 設定

WebDAV およびファイル ドロップ領域フィールド タイプをサポートするように Internet Explorer を設定する手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、**[ツール]** メニューをクリックするか、ALT-T を押し、**[インターネット オプション]** をクリックします。**[インターネット オプション]** ダイアログが表示されます。
3. **[インターネット オプション]** ダイアログ ボックスで **[セキュリティ]** タブを開きます。
4. **[セキュリティ]** タブで、**[信頼済みサイト]** ゾーンをクリックし、**[レベルのカスタマイズ]** をクリックします。**[セキュリティ 設定 - 信頼されたゾーン]** ダイアログ ボックスが表示されます。

5. [セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン] ダイアログ ボックスの [その他] セクションで、[IFRAME のプログラムとファイルの起動] の下の [有効にする] をクリックし、[OK] をクリックします。



6. 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

Windows Web フォルダ クライアントまたは Windows デスクトップ エクスペリエンス

クライアントが Sitecore WebDAV 機能を使用する場合は、Windows Web フォルダ クライアントおよび利用可能なすべての更新プログラムをインストールします。

Windows 2008 では、Windows デスクトップ エクスペリエンスをインストールします。

追加情報は、<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=17C36612-632E-4C04-9382-987622ED1D64&displaylang=en> を参照してください。

WebClient Windows サービス

Internet Explorer の WebDAV 実装は、WebClient Windows サービスを必要とします。WebClient Windows サービスがアクティブであり、自動的に起動するように設定されていることを確認します。

2.4 推奨される設定

このセクションでは、Sitecore で推奨される Internet Explorer の追加のオプション設定について説明します。

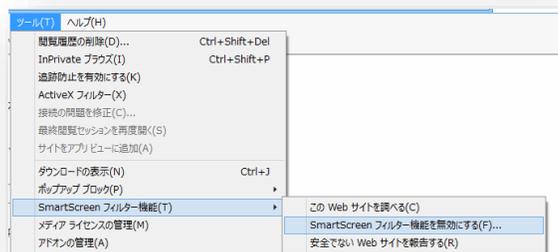
2.4.1 SmartScreen または フィッシング詐欺検出機能 の無効化

SmartScreen フィルター機能 — 以前のフィッシング詐欺検出機能 — は、Sitecore クライアントのパフォーマンスに悪影響を及ぼすことがあります。

SmartScreen または フィッシング詐欺検出機能を無効化にすることで、ブラウザの操作を向上させることができます。

Internet Explorer 9、10、11 で、Internet Explorer の信頼済みサイト ゾーンのすべてのサイトに対してフィッシング詐欺検出機能を無効にする手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、[ツール] メニューをクリックするか、ALT-T を押し、[**SmartScreen フィルター機能**] を選択します。次に [**SmartScreen フィルター機能を無効にする**] をクリックします。



2.4.2 Adobe Flash のインストール

Internet Explorer 9、10、11 に Adobe Flash をインストールする手順:

1. **Internet Explorer** で、<http://get.adobe.com/flashplayer/> を開きます。
2. Web ページ <http://get.adobe.com/flashplayer/> で、[**Install Google Chrome**] チェックボックスをオフにします。
3. ページに表示されるヒントに従います。

メモ

ファイルを Sitecore メディア ライブラリにアップロードするために使用するデフォルトのユーザー インターフェースは、Adobe Flash を使用します。Digital Marketing System (DMS) の一部のレポート インターフェースは、Adobe Flash を必要とします。

Adobe Flash をインストールできない場合、Upload.Classic 設定を Sitecore サーバーの web.config ファイルで true に変更することにより、メディアをアップロードするのに HTML ユーザー インターフェースを使用するように Sitecore を設定できます。

2.4.3 マイナーな問題

このセクションでは、さまざまなマイナーな問題を回避するために適用する必要がある設定について説明します。

Internet Explorer でさまざまなマイナーな問題を回避するための手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、[ツール] メニューをクリックするか、ALT-T を押し、[インターネット オプション] をクリックします。[インターネット オプション] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスで [セキュリティ] タブ を開きます。
4. [セキュリティ] タブで、[信頼済みサイト] ゾーンをクリックし、[レベルのカスタマイズ] をクリックすると、[セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. [セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン] ダイアログ ボックスの [その他] セクションで、次の設定を選択します。

設定	値
サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する	有効にする
Web サイトがアドレス バーやステータス バーのないウィンドウを開くのを許可する	有効にする
混在したコンテンツを表示する	有効にする

メモ

[セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン] ダイアログの [スクリプト] セクションで、[スクリプトによる貼り付け処理の許可] の下の [有効にする] をクリックします。[スクリプトによる貼り付け処理の許可] 設定は、HTTPS プロトコルを使用するコンテンツ管理環境にのみ適用します。

6. [セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン] ダイアログ ボックスで、[OK] をクリックします。
7. 確認のメッセージが表示されたら、[はい] を クリックします。

2.4.4 インターネット一時ファイルの管理の設定

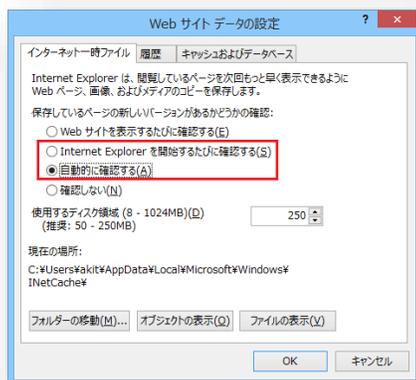
Internet Explorer でパフォーマンスを犠牲にして安定性を向上させるには、Internet Explorer のキャッシュ オプションを設定します。

Internet Explorer 9、10、11 でブラウザー キャッシュを設定する手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、[ツール] メニューをクリックするか、ALT-T を押し、[インターネット オプション] をクリックします。[インターネット オプション] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスで、[全般] タブをクリックします。
4. [全般] タブの[閲覧の履歴] セクションで、[設定] をクリックします。[Web サイトデータの設定] ダイアログボックスが表示されます。



5. [Web サイトデータの設定] ダイアログボックスの [インターネット一時ファイル] タブで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] 設定の [自動的に確認する] または [Internet Explorer を開始するたびに確認する] オプションを選択し、[OK] をクリックします。



メモ

[自動的に確認する] をクリックしてキャッシュのクリアを自動的に行う場合、Sitecore および他のブラウザー ベースの Web サイトとアプリケーションのパフォーマンスが大幅に向上することがあります。問題が発生する場合は、ブラウザー キャッシュを手動でクリアします。**[Internet Explorer を開始するたびに確認する]** をクリックした場合、ブラウザー キャッシュを手動でクリアする必要はほとんどありません。

Internet Explorer を閉じるときにキャッシュをクリアするように Internet Explorer 9、10、11 を設定する手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、**[ツール]** メニューをクリックするか、ALT-T を押し、**[インターネット オプション]** をクリックします。**[インターネット オプション]** ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[終了時に閲覧の履歴を削除する]** チェックボックスを選択します。

注意

この設定を行うと、キャッシュ破壊の問題が解決されることもありますが、ブラウザー キャッシュが適切にクリアされないこともあります。たとえば、Internet Explorer がクラッシュすると、ブラウザー キャッシュがクリアされないことがあります。

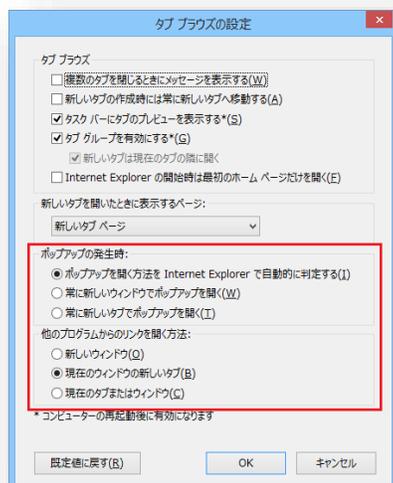
2.5 オプションの設定

このセクションでは、特定の目的を達成したり、さまざまな問題を解決したりするために適用できるオプションの手法および Internet Explorer 設定について説明します。

2.5.1 新しいウィンドウまたは新しいタブ

Internet Explorer 9、10、11 でポップアップを新しいウィンドウとして、または新しいタブとして開くかを制御する手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **[ツール]** メニューをクリックするか、ALT-T を押し、**[インターネット オプション]** をクリックします。**[インターネット オプション]** ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[インターネット オプション]** ダイアログ ボックスの **[全般]** タブをクリックし、次に**[タブ]** をクリックします。**[タブ ブラウズの設定]** ダイアログ ボックスが表示されます。
4. Internet Explorer がポップアップを処理する方法を制御するには、**[タブ ブラウズの設定]** ダイアログ ボックスで、**[ポップアップの発生時]** セクションのオプションを選択します。
5. Email クライアントなどの他のアプリケーションから起動されたリンクを Internet Explorer が開く方法を制御するには、**[タブ ブラウズの設定]** ダイアログ ボックスで、**[他のプログラムのリンクを開く方法]** の下のオプションを選択します。



2.5.2 Internet Explorer 9、10、11 のセッション マージ

Internet Explorer 8 では、Merged Frame Process または MFP と呼ばれる機能が導入されています。MFP は Internet Explorer のすべてのタブおよびウィンドウ間で、認証情報および他の Cookie を含むクライアント セッション データを共有します。Internet Explorer の新しいプロセスは既存の Internet Explorer プロセスにマージされ、終了します。新しいブラウザ ウィンドウは、既存の Internet Explorer プロセスのセッション データを使用します。

MFP の使用は、さまざまな Sitecore モードおよびセキュリティ コンテキストの下で作業する Sitecore デベロッパーを含むユーザーに制限をもたらします。このセクションで説明されている手法を使用して、複数の Internet Explorer セッションの下で作業できるようにすることができます。

[新規セッション] コマンド

ウィンドウを新しいセッションで開くには、[ファイル] メニューをクリックするか、ALT-F を押して、[新規セッション] をクリックします。

-NoSessionMerging コマンド ライン パラメーター

新しいブラウザ ウィンドウを新しいセッションを使用して開くには、-NoSessionMerging パラメーターをコマンドラインに追加します。

```
iexplore -NoSessionMerging http://localhost/sitecore
```

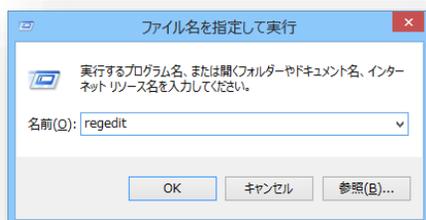
SessionMerging レジストリ設定

Windows ユーザーのすべての新しい Internet Explorer プロセスでセッション マージを無効にする手順:

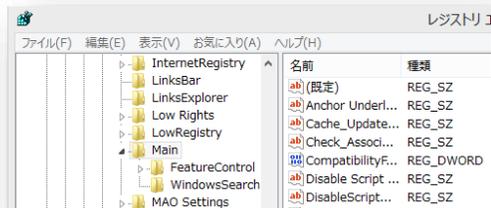
注意

レジストリを更新する前にシステムをバックアップし、レジストリ エディターで作業するときには細心の注意を払います。

1. WINDOWS キーを押したまま、R を押します。[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスで、「regedit」と入力し、[OK] をクリックします。[レジストリ エディター] が表示されます。



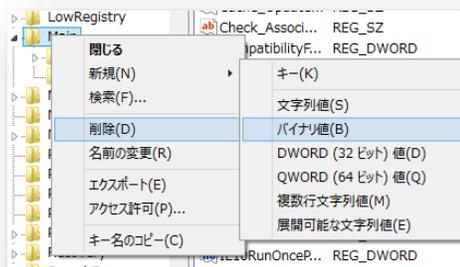
3. **[レジストリ エディター]** で、`HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Internet Explorer\Main` を展開します。



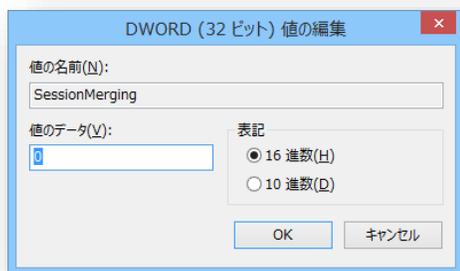
メモ

HKEY_CURRENT_USER の代わりに HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Microsoft\Internet Explorer\Main の下で対応する変更を行うことにより、この設定をすべての Windows ユーザーに適用できます。

4. **[レジストリ エディター]** で、**[Main]** を右クリックし、**[新規]**、**[DWORD (32 ビット) 値]** を順にクリックします。新しいエントリに `SessionMerging` の名前を割り当てます。



5. **[レジストリ エディター]** で **[SessionMerging]** を右クリックし、**[修正]** をクリックします。**[DWORD (32 ビット) 値の編集]** ダイアログ ボックスが表示されます。



6. **[DWORD (32 ビット) 値の編集]** ダイアログ ボックスで、**[値のデータ]** に、「0」を入力し、**[OK]** をクリックします。

7. 再起動します。

2.5.3 同時 HTTP 要求制限

特定の状況では、単一の Web サーバーへの同時 HTTP 要求数をデフォルト値より多く許可するように Internet Explorer を設定することにより、Internet Explorer のパフォーマンスが向上することがあります。

注意

レジストリを更新する前にシステムをバックアップし、レジストリ エディターで作業するときには細心の注意を払います。

重要

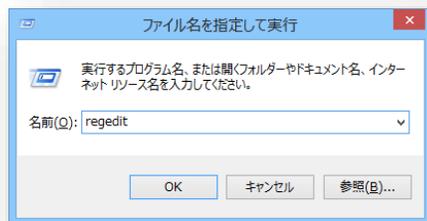
アクセスする Web サーバーの同時要求制限を超えないようにします。3 台のクライアントでそれぞれに 2 つの同時要求を許可するように設定すると、制限を超える可能性があります。

メモ

この変更は、同じコンピューターにインストールされている、同じユーザーにより使用される他のユーザー エージェントにも適用される可能性があります。

単一の Web サーバーに対する HTTP 接続数をデフォルト値よりも多く許可するように Windows アカウントを設定する手順:

1. WINDOWS キーを押したまま、R を押します。[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスが表示されます。[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスで、「regedit」と入力し、[OK] をクリックします。[レジストリ エディター] が表示されます。



2. [レジストリ エディター] で、
HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Windows\CurrentVersion\
Internet Settings を展開します。

メモ

HKEY_CURRENT_USER の代わりに
HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Microsoft\Windows\CurrentVersion\
Internet Settings の下で対応する変更を行うことにより、この設定をすべての Windows ユーザーに適用できます。

3. [レジストリ エディター] で、[Internet Settings] を右クリックし、[新規]、[DWORD (32 ビット) 値] を順にクリックします。新しいエントリに MaxConnectionsPer1_0Server の名前を割り当てます。
4. [レジストリ エディター] で、[MaxConnectionsPer1_0Server] をダブルクリックします。[DWORD (32 ビット) 値の編集] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. [DWORD (32 ビット) 値の編集] ダイアログ ボックスで、[10 進数] をクリックし、[値のデータ] に HTTP 1.0 サーバーに対して許可する同時接続の最大数を入力し、[OK] をクリックします。
6. [レジストリ エディター] で、[Internet Settings] を右クリックし、[新規]、[DWORD (32 ビット) 値] を順にクリックします。新しいエントリに MaxConnectionsPerServer の名前を割り当てます。
7. [レジストリ エディター] で、[MaxConnectionsPerServer] を右クリックし、[修正] をクリックします。[DWORD (32 ビット) 値の編集] ダイアログ ボックスが表示されます。
8. [DWORD (32 ビット) 値の編集] ダイアログ ボックスで、[10 進数] をクリックし、[値のデータ] に HTTP 1.1 サーバーに対して許可する同時接続の最大数を入力し、[OK] をクリックします。
9. 再起動します。

2.5.4 その他の設定

運用環境に応じて、以下の設定を行うことができます。

1. Internet Explorer で、[ツール] メニューをクリックするか、ALT-T を押し、[インターネット オプション] をクリックします。[インターネット オプション] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスで、[詳細設定] タブをクリックします。
3. [詳細設定] タブの [ブラウス] セクションで次の設定を行います:

設定	値
スクリプトのデバッグを使用しない (Internet Explorer)	オフ
スクリプト エラーごとに通知を表示する	オン
HTTP エラー メッセージを簡易表示する	オフ

4. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスで、[OK] をクリックします。

Chapter 3

Microsoft Internet Explorer のトラブルシューティング

この章では、Internet Explorer の問題をトラブルシューティングする手順を説明します。これらの手順は、他のブラウザーにも適用できることがあります。ただし、ブラウザーごとに UI が異なる可能性があることに注意してください。

この章には次のセクションがあります:

- トラブルシューティング プロセス
- その他のトラブルシューティング リソース

3.1 トラブルシューティング プロセス

このセクションでは、Internet Explorer の問題をトラブルシューティングについて説明します。トラブルシューティング プロセスの概要:

- Sitecore クライアントの要件を確認する。
- ブラウザー設定を確認する。
- ブラウザー プラグインを無効にする。
- ブラウザーの一時ファイル。
- Windows およびコンポーネントにパッチを適用する。
- インターネット セキュリティ ソフトウェアを確認する。
- Internet Explorer の設定をリセットする。
- 別のブラウザを使用して問題を再現する。
- 別のユーザーとして問題を再現する。
- 別のコンピューターから問題を再現する。

3.1.1 Sitecore クライアントの要件を確認する

クライアントが Sitecore クライアント要件を満たしていることを確認します。Sitecore クライアント要件の詳細については、使用中のバージョンの『インストールガイド』を参照してください。

3.1.2 ブラウザー設定を確認する

この文書で説明されている手順に正しく従っていることを確認します。

3.1.3 ブラウザー プラグインを無効にする

ツール バー、ポップアップ ブロック、他のコンポーネントなどのブラウザ プラグインをすべてアンインストールするか、無効にします。

3.1.4 ブラウザーの一時ファイルをクリアする

Internet Explorer のキャッシュおよびすべての一時ファイルをクリアすると、多くの問題が解決することがあります。

重要

更新されたリソースが Internet Explorer によって必ず取得されるようにするには、Sitecore を更新した後にブラウザー キャッシュを必ずクリアします。

Internet Explorer 9、10、11 でブラウザー キャッシュをクリアする手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、[ツール] メニューをクリックするか、ALT-T を押し、[閲覧の履歴]セクションで[削除] をクリックします。[閲覧の履歴の削除] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [閲覧の履歴の削除] ダイアログ ボックスで、[インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル] チェック ボックスだけをオンにし、[削除] をクリックします。
4. **Internet Explorer** を閉じます。

問題が継続する場合の手順:

重要

個人のデータの喪失を防ぐために、この手順は、他の考えられるトラブルシューティングの手順をすべて行っても問題が解決しない場合に行ってください。

メモ

特定の環境では、すべてのブラウザー Cookie を削除するのではなく、Sitecore インスタンスに関連付けられている Cookie だけを削除することができます。

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、[ツール] メニューをクリックするか、ALT-T を押し、[閲覧の履歴] セクションの [削除] をクリックします。[閲覧の履歴の削除] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [閲覧の履歴の削除] ダイアログで、[お気に入り Web サイト データを保持する] チェック ボックスをオフにし、他のすべてのチェック ボックスをオンにして、[削除] をクリックします。
4. **Internet Explorer** を閉じます。

3.1.5 Windows およびコンポーネントにパッチを適用する

Windows Update を使用して、Windows、Internet Explorer、MSXML、および他のシステム コンポーネントにパッチを適用します。利用できる更新プログラムがなかった場合でも再起動します。

3.1.6 インターネット セキュリティ ソフトウェアを確認する

ソフトウェア ファイアウォール、ウイルス対策ソフトウェア、および他のインターネット セキュリティ ソフトウェアは、Web アプリケーションに悪影響を及ぼすことがあります。

1. セキュリティ ソフトウェアを無効にします。
2. すべての **Internet Explorer** ウィンドウを閉じます。
3. ブラウザーの一時ファイル のセクションで説明されている手順に従って、Internet Explorer のキャッシュをクリアします。
4. 再起動します。
5. 失敗した操作を再試行します。

セキュリティ ソフトウェアを無効にした場合に問題が再現できず、有効にした場合に再現できる場合は、その他のトラブルシューティング リソース のセクションの説明に従って Sitecore にお問い合わせください。

3.1.7 Internet Explorer の設定をリセットする

問題の原因を特定できない場合、Internet Explorer をデフォルトの状態にリセットし、その後この文書で説明されている設定を適用できます。

Internet Explorer の設定をリセットする手順:

1. **Internet Explorer** のひとつのインスタンスのみが開いていることを確認します。
2. **Internet Explorer** で、[ツール] メニューをクリックするか、ALT-T を押し、[インターネット オプション] をクリックします。[インターネット オプション] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [インターネット オプション] ダイアログの [全般] タブをクリックし、[タブ] セクションで [タブ] をクリックします。[タブ ブラウズの設定] ダイアログ ボックスが表示されます。
4. [タブ ブラウズの設定] ダイアログ ボックスで、[既定値に戻す] をクリックし、[OK] をクリックします。
5. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスの [セキュリティ] タブで、[信頼済みサイト] をクリックし、[既定のレベル] をクリックします。
6. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスの [詳細設定] タブをクリックし、[詳細設定を復元] をクリックします。
7. [インターネット オプション] ダイアログ ボックスの [詳細設定] タブで、[リセット] をクリックします。プロンプトを確認して、[OK] をクリックします。
8. すべての **Internet Explorer** ウィンドウを閉じます。
9. この文書で説明されている設定を適用します。

3.1.8 別のブラウザーを使用して問題を再現する

別のブラウザーを使用して再現できない問題は、Internet Explorer の設定またはキャッシュに起因している可能性があります。さまざまなブラウザーを使用して問題を再現できる場合は、ネットワークまたはサーバーの設定など、Internet Explorer の設定とは別の場所に根本原因が存在する可能性があります。

3.1.9 別のユーザーとして問題を再現する

別のユーザーとして問題を再現できない場合は、アクセス許可、ブラウザー Cookie、プロファイル設定、またはユーザー固有の他の設定に起因している可能性があります。

3.1.10 別のコンピューターから問題を再現する

ブラウザーまたはユーザーの設定に起因せず、かつ別のコンピューターから再現できない場合は、コンピューターまたはネットワークの設定に起因している可能性があります。

3.2 その他のトラブルシューティング リソース

この文書で説明されている手順を使用しても問題が解決されない場合は、サーバーが適切に設定されていることを確認します。Sitecore Developer Network の General Forum を使用して、問題と実行したトラブルシューティングの手順を報告します。お客様が認定 Sitecore デベロッパーの場合は、ケースを Sitecore Support Portal に登録します。そうでない場合は、組織内の認定 Sitecore デベロッパーに設定の調査とケースの登録を依頼します。

ヒント

エラー メッセージを Windows のクリップボードにコピーするには、ALT-PRTSFN を押して文書または Email メッセージに貼り付けます。

Chapter 4

他のブラウザの設定

この章では、一般的に使用されている他のブラウザに関連する設定上の問題について説明します。

この章には次のセクションが含まれます:

- ポップアップ ウィンドウを Google Chrome
- 他のブラウザでポップアップ ウィンドウを有効にする
- Mozilla Firefox によるページ エディターでの確認ダイアログ ボックスの表示の防止

4.1 ポップアップ ウィンドウを Google Chrome で有効にする

Google Chrome は Sitecore を実行できますが、ポップアップはデフォルトで有効になりません。Google Chrome で例外を作成し、Sitecore Web サイトのみでポップアップが許可されるようにします。これを行うには、[コンテンツの設定] ウィンドウで例外を作成する必要があります。

Google Chrome で例外を作成する手順:

1. Google Chrome ブラウザーを開きます。
2. ブラウザー ウィンドウの右上のアイコン ([Google Chrome の設定]) をクリックします。



3. ドロップダウン メニューで、[設定] をクリックします。
4. [詳細な設定を表示] リンクをクリックします。
5. [プライバシー] の下の [コンテンツの設定] をクリックします。
6. [コンテンツの設定] ウィンドウの、[ポップアップ] セクションで、[すべてのサイトのポップアップ表示を許可しない (推奨)] をクリックします。
7. [例外の管理] をクリックして、[ポップアップの例外] ウィンドウを開きます。



8. **[ポップアップの例外]** ウィンドウで、次の例外を追加します。

```
[*.]localhost  
[*.]support.sitecore.net
```

これにより、ポップアップは、Sitecore サイトまたはローカル ホストで実行している Web サイトだけで許可され、他のすべての Web サイトでブロックされます。

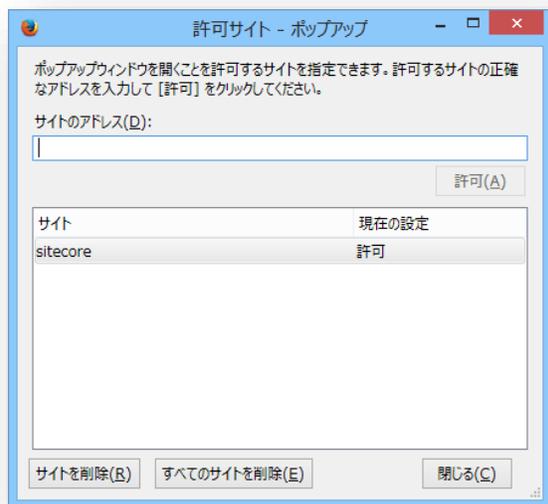
9. **[閉じる]** をクリックし、Web ブラウザーに戻ります。

4.2 他のブラウザーでポップアップ ウィンドウを有効にする

Mozilla Firefox および Apple Safari では、ポップアップ ウィンドウを有効にする必要はありません。

Firefox では、Sitecore を最初に開いたときに、ポップアップを有効にするか、ブロックするかを選択が求められます。

Sitecore に対する例外が、Firefox の [許可サイト] ウィンドウに追加されます。



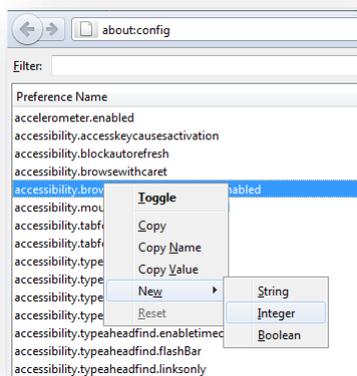
Firefox ブラウザーで許可サイトを表示する手順:

1. [ツール]、[オプション] を順にクリックし、[コンテンツ] タブをクリックします。
2. [ポップアップウィンドウをブロックする] チェック ボックスがオンであることを確認し、[例外サイト] をクリックします。

4.3 Mozilla Firefox によるページ エディターでの確認ダイアログ ボックスの表示の防止

ページ エディターでモーダル ダイアログを頻繁に開く場合、Mozilla Firefox で「このページによる追加のダイアログ表示を抑制する」の確認ダイアログ ボックスが表示されることがあります。この確認ダイアログ ボックスの表示を防止するには、次の操作を行います。

1. ブラウザーのアドレス バーに「about:config」と入力します。
2. 設定名で右クリックして、**[新規作成]**、**[整数値]** をクリックします。



3. **[新しい整数値の設定名]** ダイアログ ボックスに「dom.successive_dialog_time_limit」と入力して、**[OK]** をクリックします。
4. **[整数値の入力]** ダイアログ ボックスに「0」と入力して、**[OK]** をクリックします。